

学校再開に向けて



[教育目標]

心豊かな生徒
自ら学ぶ生徒
たくましい生徒

桐の里だより

令和2年5月号
三島町立三島中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://mishima.fcs.ed.jp/>三島中学校



ゴールデンウィーク明け最初の登校日を五月八日(金)に設けました。四月二十二日(水)から続いている臨時休業が延長され、通常の学校生活に戻る日が待ち遠しいところではありますが、今はいは我慢の時と、子どもたちも、不自由な日常に耐える日が続いています。一週間ぶりに再会した友達と、楽しく話をする姿が、あちらこちらで見られ、久しぶりに学校に明るい笑い声が戻ってきました。

中には、休業中もジョギング等、適度な運動を続けていた子どももいました。広い体育館で友達と一緒に思いっきり身体を動かして、すっきりしたのか、笑い声も一段と大きくなっています。一日も早い学校再開が望まれるところです。

コロナに負けないで頑張ってください



三島町商工会青年部よりマスク贈呈

県の教育委員会では、政府の緊急事態宣言の延長を受け、引き続き休業を要請するとしての、子どもたちの学習や心身の健康の観点から、早期の休業要請解除が望ましい旨、通知しています。また、感染予防に最大限配慮した上で、実施可能な教育活動を休業期間中から段階的に実施するよう要請していることもあり、三島町教育委員会から、休業

中の登校日のあり方等について指示がありました。本校では、週2回程度の登校日を起点に、授業再開に向けての準備を進めるとともに、感染予防に向けた新しい生活様式についても、確認しているところですが、今後、県の要請を受けて三島の指示等を受けつつ、授業の再開、そして学校の再開に向け、段階的に準備を進めてまいります。



三島町商工会青年部より、「児童、生徒の皆さんは地域を担う宝。新型コロナウイルスに感染しないようマスクを着用して健やかに育ってほしい。」と、三島町の保育所、小学校、中学校の子どもたちにもマスクの贈呈がありました。中学校からは、代表で生徒会長の二瓶教香さんが全校生二十一人分のマスクを受け取りました。なかなか手に入らない状況下での寄贈に感謝し、大切に使用させていただきます。